

JGS 関東 新設杭に干渉する既存杭の撤去に関する研究委員会
第 19 回 議事録

■日 時：2021 年 10 月 11 日（月）14:00～17:30

■場 所：Web 会議（Zoom）

■出席者：桑原（パイルフォーラム）、青木（竹中）、加倉井（パイルフォーラム）、阿部（東京ソイル）、柏（国総研）、片山（東邦地下工機）、小坂井（MFR）、西（安藤ハザマ）、三反畑（安藤ハザマ）、古垣内（東急）、張（東急）、嶋田（大林）、森（熊谷）、福田（戸田）、長澤（清水）、栗本（清水）、原（西松）、伊藤（東亜）、小林（大成）、高岡（三井住友）、梶野（長谷工）、土屋（竹中）、宮本（東洋テクノ）、木谷（三谷セキサン）、田中（大洋基礎）、小川（旭化成）、細田（ジャパンパイル）、高田（山下）（不動テトラ）、有山（丸建興業）、野坂（八州建機）、媚山（新潟商事）、根岸（地盤試験所）、飯島（土木研究所）
欠席：____，記録：高田

■配布資料

19-0_既存杭撤去第 19 回議事次第_211004
19-1_第 18 回既存杭の撤去に関する研究委員会_議事録(案)_20211005
19-2-1_手引き_表紙-前書き（タイトル案）_211011
19-2-2_手引き_1 章_211007
19-2-3_ガイドライン用語修正版（1 章 2 章 3 章 4 章 5 章 6 章）_211004
19-2-4_手引き_査読結果_1 章（回答）_211007
19-3-1_3 章_WG1_20211010
19-3-2_第 3 章査読対応
19-4-1_第 2 章既存杭の調査修正案（青木 2.1 追記）_211011
19-4-2_第 2 章修正対応案（2.1 青木追記）_211011
19-4-3(1)_第 4 章（WG2）_211010(2)
19-4-4_付録 2_調査事例概要集_20211006
19-4-5(1)_第 4 章_査読意見・対応_20211009
19-4-6_第 7 章 WG2 分修正_211007
19-4-7_第 7 章査読意見・対応_211007
19-5-1_第 19 回(20210929)WG3 議事録(案) 記録者：土屋@竹中
19-5-2_WG3_ガイドライン 5 章 6 章_20211011
19-5-3_WG2 査読結果 5 章黄強調あり（WG3 対応）
19-5-4_手引き_査読意見（青木）210823（WG3 対応）
19-5-5_WG2 査読結果 6 章黄強調あり_210826 _小林(査読対応)

■議事

1. 前回議事録の確認等（資料 19-1）【西委員】

第 18 回（8 月 26 日）の議事録のうち決定、対応事項などを確認した。

- ・「5. 全体の査読結果」 埋戻し方法の区分けが 3 章（図）と 4 章で、項目と内容が異なる
「図 3.1.4 埋戻し時の処理方法」を「埋戻し時の攪拌方法」へ変更した。
埋戻し方法の要素を、埋戻し材、注入・投入方法、攪拌方法 と整理した。
- ・上記を確認し、前回議事録は承認された。

2. 今後のスケジュール確認【桑原委員長】

議事次第「8. 今後のスケジュール（案）」について調整を行い、下記の通り決定した。

次 回 : 12 月 1 日（水） 原稿完成

次々回 : 2 月 2 日（水） 14:00～17:00 web 開催 印刷物確認・校正、講習会計画

最終回（仮）: 3 月末で実施予定。内容は運営等調整

講習会について、地盤工学会支部か本部での実施か検討中である。支部委員会で実施可能か問合せ中であり、印刷についても明言できない状況である。

3. 手引き（表紙、まえがき、用語）【桑原委員長，青木幹事】

（表紙）

- ・タイトルを手引き、ガイドライン等とするとハードルが高いとの意見があった。埋戻し方法と新設杭に関する内容を並列としたい。情報を提供する面が強い。
（別案候補）「既存杭の撤去・埋戻し方法とその影響を受ける新設杭の設計と施工」で決定
- ・文書内の「手引き」という名称を使用しないよう修正する。

（まえがき）

- ・査読結果を対応

（用語）

- ・「存置杭」説明文について再検討する
（撤去せずにそのまま残しておく杭 のみの表現でよいか）
- ・「埋戻し地盤」埋め戻した部分の周囲の原地盤を含めた呼称 は削除

（本書作成関係委員）

- ・関東支部より研究委員会としての取組内容を示すよう意向があった。研究成果（内容）は冒頭の概要に示してある。
- ・委員会の途中で交代した場合は、退任者（～退任日）、新規者（参加日～）とする。
- ・研究委員会の下段に、（委員長）（幹事）を追記する。
- ・委員の構成と、執筆担当を分ける。
- ・委員の構成で、各 WG の副タイトルを追記する。
- ・委員長、幹事で修正し、主査に回覧する。

4. WG1 修正内容（資料 19-3）【WG1】

3 章の変更箇所等の確認を行った。

- ・埋戻し時の処理方法 →埋戻し時の攪拌方法
- ・図中のフォントを統一する？
- ・検討中の項目は次回までに修正する。
- ・3 章（表 3.4.4）と 4 章（表 4.7.1）埋戻し出来栄の調整 ⇒日程を決定し、実施する。

（項目）：表 4.7.1 ⑪が表 3.4.4 の項目に存在しない

3 章では実際に施工した事例が存在しなかったため記載していない。

→4 章 表 4.7.1⑪の事例を 3 章で評価し追記する。

- ・表 3.4.4 の説明を追記する。5 段階評価の意味。出来栄が 4 章の内容を反映したものである。出来栄の評価は 4 章内で説明している。

5. WG2 修正内容（資料 19-4）【WG2】

2, 4 章の変更箇所等の確認を行った。

(2 章)

- ・ 2.1 のタイトルを変更する。 内容を変更せず、タイトルの変更で対応する。計画やフローのボリュームが少ない点、2.2 が事前調査の内容となる点に留意する。既存杭に関連した計画のみであることを示したタイトル。

(4 章)

- ・ 図 4.2.1 は 3 章図修正後に、修正する。
- ・ エアブロー攪拌は、エア攪拌、エアリフト攪拌に統一
図 4.2.3 の①～③項目順番と文言を修正する
→エア攪拌とエアリフト攪拌は別方法と決定。エアリフト攪拌はエア攪拌に含まれない。
(用語を修正し対応)
- ・ 図 4.4.1 に最新の報文発表内容を反映するか？
→オールケーシング砕撤去工法の部分は分類番号を追加し、調査事例一覧を更新する。
- ・ 参考文献内の事例番号は削除予定。
- ・ セメントミルクの施工管理方法を 7 章 (7.1) に加筆するか検討する。
- ・ 4 章のタイトルの「選定」について、本書の意向に従って変更して欲しい。
例えば、選定→評価に変更。
(3 章 3.4 の「選定」も変更してはどうか。内容は淡々と評価されているので変更はなし。)
- ・ 指針や手引きにおける方針ではなく、実施した場合の情報提供としてのニュアンスに変更してはどうか。 事実を公平に評価したという内容
→調整できる範囲で対応する。。

6. WG3 修正内容（資料 19-4-6, 19-4-7）【WG3】

5 章, 6 章の変更箇所等の確認を行った。

(5 章) 5.1

- ・ 干渉→重なる場合、近接する場合などに変更

(5 章) 5.2

- ・ 5.2.1 の出典は経験値である。傾斜の施工精度を考慮した を追記
- ・ 表 5.2.2 の値の説明を追加

(5 章) 5.3

- ・ トレミー管によるトラブルは、原因（トレミー管の長さ不足）を追記
- ・ 図 5.3.17 の孔壁から離隔事例を 150mm に変更し、まとめと整合をとった。

(5 章) 5.4

(6 章)

- ・ 残置の扱い（廃棄物処理法違反）について
→物理的に撤去出来ない場合（その杭を撤去すると周辺地盤に大きな影響を及ぼす場合など）
など、残置せざるを得ない時は但し書きで許容される場合がある。と認識している。

- ・ 6 章は設計指針に必要な部分。検証は不十分だが、参考となる内容である。
そこで、設計するための考えを思い切って記載している。実験的な部分も含めた裏付けが不

足している部分もある中で、一つの考え方を示している。

旨のコメントを6章冒頭または設計の始まりに追加してはどうか。（第1章にニュアンスが記載されている）

7. 7章修正内容【堀山委員】

（7章）7.1

- ・修正意見を全て取り入れて対応する。取捨選択は現場ごとと考える。

→重要度を勘案し、簡潔に最小限のデータは確保できることを念頭に作成して欲しい。

8. 付録内容の確認（資料）【青木幹事】

付録1, 2の確認を行った。

（付録1 アンケート）

- ・新設杭に重なる場合や近接する場合としているが、実情はどうか。（アンケート注釈には「干渉する場合」と記載されている）

→現場では干渉の場合は、「重なる場合」のみを示している。

アンケート内では重なる場合に限定する。

（付録2 調査事例集）

- ・掲載許可についても原稿提出時まで確認を行う。

9. 完成原稿（仮）の提出時期について【桑原委員長】

- ・11月17日（水）までに完成原稿（仮）を委員長・幹事へ送付すること

10. 7.2節について【古垣内リーダー】

- ・査読意見には対応済み と報告

11. 4章の章構成の変更について【古垣内リーダー】

- ・4.7.3→4.6（3） 4.7.2→4.5 に変更するか？

→4.7.1 評価の文末に「優れた工法（評価の高い工法）は～～～であり、その方法を用いる場合の留意点を示す。」との一文を入れて対応してはどうか。

→上記の内容で対応予定。

以上